

2015-02-24

第7回パソコンでこんなこと出来るん展(準備完了)

2月24日 明日からの第7回出来るん展の準備日

2年3度目のイベント準備に、各展示担当グループの世話人や応援団が朝9時から中央公民館に集って展示会準備に当たる。

一階ギャラリー会場のパーティションの設置と展示位置の確認作業、2階の学習室では展示品の作成、貼り付け作業が着々と進む。

1階ギャラリーでの展示完了は午後4時過ぎ、準備諸々完了して明日からのオープンを待つだけとなりました。

佐藤記



2015-02-25

第7回出来るん展初日

2月25日展示会オープンは天候に恵まれ多くの来場者でにぎわいました。

中にはタウン誌の記事を見てわざわざ八王子や神奈川の方から尋ねてきてくれた方がおられたのには驚き、又心から感謝いたしました。主催者側としてはとても嬉しい来場者で、応対した会員と色々情報交換して熱心に見物して行かれました。

本日来場者数は約280名、そのうち10名以上の方が入会申し込み書を持ち帰られ新しいメンバーが増えそうな予感です。

佐藤記



2015-02-26

第7回出来るん展2日目

前日からの天気予報より早めに雨が降り出し来場者の出足が悪さが予想されたが、受付スタッフや各サークルの当番係は万全の準備をして来場者を待つ。

公民館の催しに参加して立ち寄られた方々や応援に駆けつけた会員などで総数115名の来観者を数えた。ゆっくりと鑑賞してもらえたようだ。

2日目の動的展示・体験コーナーでは「スクラッチゲーム、その他の実演」「ポストカードの作成実演」には総勢46名が体験参加。3歳の幼児から「飛行機のカードが欲しい」と想定外の注文に、そこは小学校放課後子供教室サポートの会員はしっかりと応える。喜ぶ若い親子連れや孫や奥さんへの誕生カードにご満悦のシニアなど体験コーナーは大賑わいでした。

佐藤記



2015-02-27

第7回出来るん展3日目

今年もデジカメ同好会とビデオサークルのメンバーが記録写真の撮影に取り組んでくれている。

会の活動の記録の集積という大事な役割を担ってくれている。2年に一度という間隔もあってあいまいな記憶に頼らず前回の記録写真をまさに擦り切れるほど見直す展示会関係者には欠かせない資料となっている。

展示品は概ね来場者の関心を引いている。中には、勉強会のテキストを丹念に目を通し「素晴らしいので譲っていただけませんか」と言う申し出も。丁寧に断りずるも嬉しい話だ。

会場の廊下側に展示してある色とりどりの表紙の本、材質、形も様々で来場者は興味深く手に取っている。写真集あり旅の記録あり綴り込まれたコンテンツの個性豊かに驚き、自分も作ってみたいと入会を希望している方は少なくなさそうだ。

3日目の来場者 約170名 我楽多倶楽部のJtrim写真加工の体験者は約40名と賑わった。

佐藤記



2015-02-28

第7回出来るん展4日目

4日目の2月28日は土曜日ということもあり大勢の来場者で賑わいました。来場者285名ごった返す会場では小林小平市長が主催者側の説明を受け熱心に展示品に見入っていた。

シニアの生きがい作り活動への行政の理解が深まることを期待。

本日の動的展示体験コーナーは午前の部「デジカメ相談・実演」では一輪挿の花を被写体にしてカメラ3台で囲み、マクロ、広角、標準の撮影で一瞬レフの魅力を感じてもらった。

午後は、「スマホ体験」、富士通の好意で貸与された10台のスマートフォンを使ってスマホの面白さを体感してもらう企画、KSNCとして日頃扱ってない分野で戸惑いもあったが、シニアにとってもモバイル端末をいつまでも傍観している時代ではないと踏み切った企画。一つのエポックになる体験コーナーになったように思う。

明日がいよいよ出来るん展最終日

佐藤記



2015-03-01

第7回出来るん展最終日

第7回パソコンでこんなこと出来るん展も5日目最終日となる。

生憎の雨模様となったものの来場者は絶えることなく、午後からの撤去作業と作品引き取りにきた会員で昼時のギャラリーは大いに賑わった。

5日目体験会は「スマホ体験」の2日目、スマホへの関心の高さかコーナーは立ち見も多量盛況。

午後1時閉幕し反省会を行って散会。期間中の来場者は 約1050名。準備段階から今日まで関わった多くの会員の労に感謝します。

佐藤記

